

歴史



四万温泉の歴史は古く、桓武天皇の御代(約1180年前)に、征夷大將軍として蝦夷征伐に來た坂上田村麻呂が、この地で入浴したことが始まりと言われ、また、延暦年間に源頼光の家臣で四天王として知られる日向守碓氷貞光が、読経の際に夢うつつに現れた童子に「四万の病腦を癒す靈泉を授ける。」と言われ温泉を発見し、神託にちなんで温泉を御夢想之湯と名付けたとも言われています。以来、永祿年間に湯宿が始まり、湯治場として発展の道を歩みました。近代においては与謝野晶子や太宰治をはじめ、多くの文人墨客に親しまれてきました。昭和29年には国民保養温泉の第一号に指定されました。

平成18年1月に一新した「御夢想之湯」は、日向守貞光ゆかりの湯にちなんだ名称で、立ち昇る湯けむりは往時の夢と伝説を今に伝えているようです。



日向見薬師堂 [国指定重要文化財]

薬師如来を祀った薬師堂は薬師瑠璃光如来と号し、室町時代後期の建物で、明治45年に国の特別保護建築物(国宝)に指定され、戦後、法改正により国指定重要文化財となりました。三間四方のお堂は「練形」がよく現れており、我が国でも数の少ない唐様建築として、静かな佇まいを見せています。



薬師堂の絵馬

薬師堂の前で祢宜(神官)6人が太鼓・鼓・笛などを鳴らし、祢宜1人が「湯立」をしている特異な絵馬です。薬師の広前に大釜を据え、熱湯を沸かし祢宜の身などに湯釜を注ぐ、一種の奇跡信仰と見られ神仏の心をいさめ諸災を除き、朝夕の幸を祈る意味の「奉納御宝口願成就所」とあります。



山口の湯けむり(明治40年頃)



雨中の新湯(明治43年頃)



温泉

湯

古くから、ここで暮らす人々は飲泉を生活の中に取り入れており、温泉街に設置されている飲泉所は、気軽に立ち寄れる場としてどなたでもご利用いただけます。身も心も癒される四万温泉で、心ゆくまで「和み」を味わってください。

- 泉温:40度~80度
- 泉質:ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩泉
- 効能:胃腸病・神経痛・リウマチ・皮膚病・擦り傷・切り傷・アトピー性皮膚炎等
飲泉としては、胃腸病、食欲増進



上之湯

●時間/9時~15時



河原の湯

●時間/9時~15時



山口露天風呂

●時間/9時~21時



御夢想之湯

●時間/9時~15時

ぶらり、湯らりと心の贅。

外湯めぐり



四万清流の湯

- 料金/2時間 500円
- 時間/10時~21時(11/1~3/31は20時まで)
- 定休日/第4水曜日・12/27~12/29
- TEL0279-64-2610

こしきの湯

- 料金/400円
- 時間/10時~17時
- 定休日/第2水曜日・12/1~3/31
- TEL/0279-64-2810

公共のお風呂です。マナーを守って入りましょう。

飲泉所案内

飲んでもよし、霊効の湯。

塩之湯飲泉所

●設置場所:かみつけ信用組合前

ゆずりは飲泉所

●設置場所:ゆずりはテニスコート横

